

DA-6 公募研究課題

(1) 研究課題名

産後のケアの効果的な実施を推進するための研究（23DA0601）

(2) 目標

出産後の母親は、身体的、心理的にも不調に陥りやすく、適切な時期に必要な支援が実施されることが重要である。特に、産後うつの可能性が高いとされるエジンバラ産後うつ病質問票 EPDS 9 点以上の産婦が産後 1 か月時点で約 1 割いることや、腰痛や尿漏れ等の身体的トラブルなども起こりやすい時期であることから、心身のケアを行う体制の構築が求められている。

本研究では、産後に必要な身体的・心理的ケアを効果的に実施するための科学的な根拠に基づく効果的な標準プログラム等を作成する。

(3) 求められる成果

- ・ 産後の身体的トラブルを予防・緩和するためのエビデンスや方策を文献レビュー等にて検討し、市町村事業において活用できる身体的支援のプログラム（科学的な根拠に基づく効果的なケア）やリーフレットの作成及び活用のためのマニュアルを作成すること
- ・ 産後のメンタルヘルス及び産後ケア事業において提供している産婦への支援について、文献レビューや市町村での支援の実態調査等で明らかにして、対象者の把握方法及び心理的支援に活用できるガイドラインやリーフレットを作成すること。また、関係団体が作成している既存のガイドライン等も踏まえ、産後ケア事業のガイドライン見直しに資する提言を行うこと。
- ・ プログラムのエビデンスレベル（評価指標等の信頼性・妥当性、介入の効果等）を示す資料（研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等）の作成

(4) 研究費の規模等※

研究費の規模： 1 課題当たり年間 12,000 千円程度※（間接経費を含む）

研究実施予定期間： 令和5年度～令和7年度

新規採択課題予定数： 1 課題程度※

※ 研究費の規模等はおおよその目安となります。研究費の規模及び新規採択課題予定数等については、今後の予算成立の状況等により変動することがあります。

(5) 採択条件

- ・ 産後の身体的・心理的ケアに関連する様々な専門家（公衆衛生の専門家、医師（産婦人科、精神科等の専門医）、保健師、助産師、看護師等）を研究分担者とする研究班体制が構築されていること。
- ・ 自治体の母子保健事業の実施者（行政、関係団体等）の意見が反映される体制が整備されていること。

- ・ 研究分担者又は研究協力者として、若手研究者・女性研究者を研究班に参画させるよう努めること。